

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「ごみ減量化を進めるために地域や家庭ができること」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対するコメント

ご意見ありがとうございます。

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「ごみ減量化を進めるために地域や家庭ができること」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見

「なし」

○テーマについての意見・提案

「なし」

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「空き家問題」について

【回答】

阿久比町では、令和３年１２月から「阿久比町特定空家等認定基準」を制定し、対策にあたっています。この基準を定めたことにより、問題となる空き家があった場合、①そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、②適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態、③その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切な状態、のいずれかに該当すると認められるものについては、初めに空家等対策協議会で審議のうえ、特定空家等に認定します。次に、所有者等に対する助言又は指導を行い、改善が見られない場合には勧告を行います。勧告をしても改善がない場合は、最後に、固定資産税が減額される固定資産税住宅用地の特例を除外することにより、敷地となる土地の固定資産税が上がるという措置を取ります。この対策により、持ち主に対して空き家やその敷地の適切な管理を促しています。

また、阿久比町では、令和３年１月から（公社）愛知県宅地建物取引業協会との協定に基づく連携により、「阿久比町空き家バンク」を設置いたしました。空き家バンクとは、賃貸・売却を希望する空き家の情報を集約し、空き家の利活用を希望する方へ情報発信することにより、利活用の促進を図る仕組みです。このような仕組みを活用し、居住に適した地域である阿久比町から、空き家を増やさないよう情報発信に努めてまいります。

②「耐震対策」について

【回答】

阿久比町では、令和３年３月に「阿久比町耐震改修促進計画」を改定し、耐震化の推進状況を公表しています。町の公式ホームページにおいても公開していますので、ご覧ください。

各地域別の耐震診断受診率、耐震診断値については、現在、行政区別で対象となる家屋の件数を正確には把握していませんので、次の「阿久比町耐震改修促進計画」改定時の検討課題とさせていただきます。

今後も広報やダイレクトメールなどにより耐震改修の周知に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

③「外国人入居」について

【回答】

阿久比町には日本語が話せない外国の方を対象にした日本語教室等のサービスはありませんので、日本語教室に通いたいという外国の方がみえましたら、近隣市町の国際交流協会等で実施している日本語教室をご案内します。

また、町の公式ホームページの外国語対応、防災マップやごみカレンダーの外国語版作成により、外国の方の日常生活における不安の解消に努めています。災害時に向け、全避難所に外国人避難者支援のための簡易なイラストと多言語を併記した災害時用コミュニケーション支援ボードを配備し、併せて町が所有する6台のAI音声翻訳機を外国の方が避難している避難所へ貸し出すことも検討しています。災害時における言葉の問題の解決については、避難者同士の助け合いも力を発揮しますので、日頃から地区において外国の方も含めた住民同士の関係づくりをお願いします。

外国の方に関して不安なこと等がありましたら政策協働課など役場の各窓口にお越しく下さい。電話やメールでの相談も受け付けますのでよろしくお願い致します。

④「ごみ出し問題」について

【回答】

ごみ出し問題についてのご意見ありがとうございます。

まず、宮津山田地区におけるゴミ出しの状況についてお答えします。令和4年の4月～8月の4ヶ月間で、11件の不適切なゴミ出しがありました。内容は、指定袋ではなく、旧ごみ袋などで出していました。このうち、2件については、当事者が確認できましたので、直接、職員がお会いして是正をお願いしました。

有料化について、住民への理解が進まない、浸透していないというお話ですので、宮津山田地区には、アグナビによる指定袋によるごみ出しの徹底、また、有料化に至った経緯、財源目的を文書で回覧し、説明してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「ごみ減量化を進めるために地域や家庭ができること」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「AguNavi（アグナビ）」について

【回答】

アグナビをご利用いただきありがとうございます。アグナビについては、町の防災情報や行政情報をお知らせするアプリとして令和３年度に導入し、多くの方にインストールしていただいています。非常に便利なアプリですので、町としても多くの方に利用していただきたいと考えていますので、自主防災会等での周知・啓発にご協力願います。

インストールへ向けた大胆なPRをご提案いただきありがとうございます。しかし、スマートフォンをお持ちでない方との公平性の観点や予算などの調整が必要となってきますので、インストール数を伸ばすための貴重なアイデアとして今後の検討材料とさせていただきます。

今年度も改めて、広報や町の公式ホームページに加え、園や学校などの連絡配信アプリなど様々な媒体を用いてPRし、また、町民の皆様に興味を持ってもらえるような情報を発信し、利用者の増加と知名度の向上に努めてまいりますので、地区内でも区民の皆様へのインストールを呼び掛けていただきますようご協力願います。

②「広報あぐいの放送（新型コロナウイルス感染者情報）」について

【回答】

新型コロナウイルスの発生から約３年が経過し、波はあるものの、感染が終息に向かう気配はありません。新型コロナウイルス感染者情報の放送については、お一人お一人の感染予防の意識を高めてもらうことで、感染の抑制につなげていきたいと考えていますので、今後も続けていく予定です。また、冒頭に名前を述べておりますのは、町長自ら感染防止対策をお願いしたいという思いのためですので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「ごみ減量化を進めるために地域や家庭ができること」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「英保育園跡地の有効活用」について

【回答】

福住地区におかれましては、英保育園の用地使用につきまして、多大なご支援をいただきありがとうございます。

現在休園としている英保育園につきましては、ワーキンググループを設置して利活用方法の検討を進めているところです。利活用の検討を行うにあたり、町民の皆様にとって有益となる利活用方法であることが最優先だと考えております。

②「虫供養」について

【回答】

虫供養は、昭和５８年に愛知県無形民俗文化財に指定されており、各地区が持ち回りで掛軸などの道具を大切に保管し、一連の行事を行っていることが指定理由の一つとなっています。開催において難しい面があるとは理解していますが、各地区の住民のお力により、従来どおり当番地区内での開催をお願いします。

また、文化財保護の観点から、町指定文化財の１２幅の掛軸について、行事の保存維持・伝承のために補助金を交付しています。なお、町の指導力を発揮してほしいとのことですが、虫供養行事は宗教的行事と解釈されることから、行事について町は指導ができません。引き続き、掛軸についての補助金、保管、虫供養PRについての協力はいたしますので、ご了承ください。

③「ラジコン型草刈り機の導入・貸出」について

【回答】

現時点でラジコン型草刈り機の導入は考えておりません。

防災溜池の法面などの草刈りに活用されたいとのことですので、産業観光課の多面的機能支払交付金を活用した場合、機器のリースや業者委託などができることがありますので、まずは、産業観光課土地改良係までご相談ください。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「スポーツ村交流センターが、町民にとって使いやすい施設となるための方法やアイデア」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「町の所有地の定期的な草刈りを実施してほしい」について

【回答】

幹線道路を中心に定期的に草刈りを実施しておりますが、町内全ての道路等の草刈りを行政で実施することは困難なため、常日頃から各大字・自治会の皆様には草刈りにご協力をいただいております。大変ありがたく思っております。今後とも各地区においてご協力をお願いいたします。

空き家の雑草の繁茂については、「阿久比町特定空家等認定基準」により、周辺の生活環境の保全を図るうえで放置することが不適切と判断する場合、所有者等へ助言をいたしますので、該当する家屋の情報を都市計画係までご提供ください。現地確認をして判断いたします。

空地の場合は、役場で助言・指導を実施することは難しいのが現状です。火災の延焼の危険がある場合は、半田消防署阿久比支署にご相談をお願いいたします。

町の所有する施設に関しては定期的に草刈りを実施しております。雑草が敷地から出ているようなことがありましたら役場まで連絡いただきますようお願いいたします。

②「耕作放棄地が増えてきており、景観上、害虫等の発生の面からも早く実現可能な対策から手を打ってほしい」について

【回答】

阿久比町農業委員会では、農地の利用の最適化を推進するため、「農地等の利用の最適化の推進に関する方針」を策定し、「遊休農地の発生防止・解消」などの活動を行うにあたっての目標や推進方法を定めています。この方針を策定した平成29年（2017年）時点で町内の遊休農地の面積は、22.7haで、その後も遊休農地の発生防止・解消に取り組んでおりますが、令和3年現在23.0haの遊休農地を確認しております。

遊休農地の発生防止・解消にあたっては、①農地の利用上調査と利用意向調査の実施、②意欲的な担い手へ農地を貸出するため、利用意向調査等の意向を

踏まえた農地中間管理機構への貸付、③現況に応じた「非農地判定」を行うなど、守るべき農地の明確化、④地域の農業者等の話し合いに基づき、地域農業における中心経営体や地域における農業の将来の在り方などを明確化する人・農地プランの作成などがあげられます。

「景観を維持するための、花の種まき、植樹等の町民参加型のイベントの企画検討を実施してはどうか」とのご意見に対しては、本町では水田の生産調整や遊休農地の発生防止として、水田に転作作物である景観作物（コスモス・ヒマワリ等）を作付けした地域の農業者に対し、種子代の助成を行っています。

また、本町では、国土保全・洪水調整・景観形成などの多面的機能を持つ農地や農業用施設の保全を目的とした取組を行っている町内8地区に対し、多面的機能支払交付金を助成しています。白沢地区においても「白沢地域資源保全会」を支援しております。本交付金の活用事例の中には、地域農家が中心となって、沿道の農地端部にヒマワリを植栽し、地域全体の景観向上につながっている活動も報告されております。このような地域活動やボランティア活動などによって、まちに対する誇りや愛着であるシビックプライドの醸成を図ることにつながるのではないかと考えますので、ぜひ地域活動で取り組んでいただければと考えています。

今後も遊休農地の発生防止・解消に向けて、地域の農業者や関係機関と連携しながら、有効な遊休農地の発生防止・解消策を検討していきたいと考えておりますので、引き続き、皆様には地域活動にご協力をお願いいたします。

③「道路補修・整備について、町が責任をもって取り組んでほしい」について

【回答】

レミファルト等で地域にて簡易補修を実施していただきありがとうございます。簡易補修では対応が難しい場所については、維持補修申請書をご提出いただいたうえで、現地状況を確認し、ある程度の事業規模をもって、町にて道路補修を実施してまいりますので、よろしくお願いします。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「スポーツ村交流センターが、町民にとって使いやすい施設となるための方法やアイデア」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「都市計画道路、草木字万場、峰東横断歩道の安全対策を実施してほしい」について

【回答】

都市計画道路草木岩滑線の万場地内の交差点の交通安全対策につきましては、交差点部にガードパイプを施工する予定であります。

また、横断歩道の存在を早い段階で運転者に認知していただくため、道路管理者と協議し、カラー舗装、白線の引き直しなど歩行者など横断者を守る施策を講じていきます。万場、峰東横断歩道については、すでにカラー舗装、横断用の旗を設置するなど安全対策を実施しております。地区においても、該当箇所の横断歩道などを安全に通行できるよう周知・啓発にご協力いただきますようお願いします。

併せて、スピードや一時停止などの取り締まりについて、警察に要望をすることもできますので、交通ルールが守られていない危険な箇所がありましたら防災交通課にお知らせください。



②「県道草木金沢線に歩道の設置を」について

【回答】

県道草木金沢線の歩道設置につきましては、毎年、愛知県建設局長に対し、要望をしております。本年度も事業化に向けて、引き続き要望してまいります。

③「町道３１９６号線に歩道を」について

【回答】

町道３１９６号線の歩道設置につきましては、用地買収費や工事費等多額の費用がかかると見込まれます。歩道の利用が見込まれる利用者の交通量を調査し、費用対効果等を検討してまいります。

草木字草元倉から卯坂の区間については、小中学校の通学路に指定されておられませんので、通学路として利用しない旨を指導いただくよう小中学校に通知いたします。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「スポーツ村交流センターが、町民にとって使いやすい施設となるための方法やアイデア」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「近隣地区を対象にした体験会（簡単な催し物）を実施する」について

【回答】

交流センターを活用した催し物については、オープン以来定期的を実施しております。今後も広報などでお知らせしますので、ご参加いただきたいと思います。

地区の行事でも積極的に交流センターをご利用ください。希望があれば全ての地区の方に対して、交流センター内の施設説明会を開催したいと考えております。説明会を希望される場合は、社会教育課体育係へお気軽に問い合わせてください。その際に、多目的体育室などの利用があれば、利用している状況などを参考にご覧いただくこともできます。各地区の行事を交流センターで行いたい場合や行うことができるかどうか迷われる場合はご相談ください。

②「上記の体験や行事内容を写真付きで広報で知らせる」について

【回答】

令和4年4月1日オープンにあたり、広報あぐい令和4年1月1・15日合併号にお知らせを掲載しました。今後もイベントの開催など新しい情報を随時、広報や町の公式ホームページに写真付きで掲載してまいりますので、よろしくお願いします。

③「地区専用日を設ける」について

【回答】

地区専用日を設けることは、平等な施設利用の観点から考えると難しいのが現状です。これまでどおりご希望の日時と使用部屋の申請（使用する日の2か月前から3日前までに使用許可を受けてください。）をいただいてのご利用をお願いします。なお、地区行事日が固定されており、2か月より前の申請を希望する場合はご相談ください。

○地区からのご意見に対する回答

「ごみ減量化を進めるために地域や家庭ができること」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「卯之山老人憩の家のトイレ」について

【回答】

老人憩の家のトイレを改修するためには、現状事業費が不明ではありますが、阿久比町立施設大規模修繕等実施要綱に基づき、事業費が100万円以上のものについては町の負担率が事業費の2分の1以内、負担限度額400万円という制度がありますのでご活用ください。大字におかれましても2分の1の費用負担が発生しますので、ご承知おきください。

また、工事時期については、至急対応しなければ安全面での危険がある場合など、緊急性があるものを除いて、原則として来年度予算での対応となります。ただし、工事の必要性等を鑑み大字と協議の上、現状のまま使用していただくようお願いする場合があります。

今後工事を実施することになった場合、一定期間トイレが使用不可となる場合もあります。この付近では公共施設が少ないこともあり、工事の規模などによっては、仮設トイレの使用や工期中の施設使用を中止する可能性もあります。そのあたりも考慮の上、改修を希望される場合は、健康介護課にご相談ください。

②「卯之山公園」について

【回答】

阿久比町では、現在45箇所の都市公園等を管理しています。それぞれに遊具などの修繕や更新が必要な時期となっており、公園の再整備は、老朽化により危険度の高い施設から順次行っております。

ご提案の整備については、公園敷地の大規模な造成に多額の工事費を必要とするため、財政面からも容易ではなく、今すぐに対応することは困難です。しかし、再整備の際にはいただいたご提案を参考に、地区とも相談の上、利用者の意向に沿った公園整備を行っていきたいと考えております。

③「ゴミステーションのカラス対策」について

【回答】

カラス対策については「防鳥ネットをきちんと使用すること」をお願いします。そのためには、ごみを排出する方が、きちんとネットからはみ出さないように順次奥から投入することが重要です。奥から投入せず溢れてしまうと、カラスの被害に遭い、通行人や周辺の住民の方に迷惑がかかります。回収業者の作業にも時間がかかり、回収時間も遅くなっていますので、ごみの出し方について、地域住民の方へのマナーの周知・徹底をお願いします。町といたしましても改めて基本的なごみ出しのマナーについて呼びかけていきます。

金属製のステーションは、収容量が限られ、防鳥ネットのように柔らかい素材ではありませんのでオーバーしたら扉が閉まらず、カラスの被害に遭う可能性が高くなってしまいます。そのため、ゴミステーションを現状より大きな容量に作り直すなどの対策が必要となりますが、用地の件などもあり難しいのが現状です。また、防鳥ネットであれば、簡単に修繕したりおもりを付けて隙間をなくしたりするなど地区の皆様による臨機応変な対応ができますが、金属製のステーションになるとそのような対応ができなくなってしまいますので、現状のご対応をお願いします。ネットが破れた、大きなものにしてほしいなどの要望がある場合は、行政協力員さんを通して建設環境課環境係に要望していただければ、新しいものをお渡ししますので、ご協力願います。

カラス対策は「カラスの生息数」を減らすことです。カラスのエサとなる生ごみには栄養価が高く含まれていますので、生ごみを食べて生息するサイクルを絶つことが重要です。

そのためには、「エサとなる生ごみ、残飯を減らすこと」が必要です。家庭からの生ごみを減らすために効果的なものとして「生ごみ処理機」があります。この「生ごみ処理機」については、平成１２年度から補助制度を設けています。今年度から、新たに「キエーロ」を補助対象として追加し、制度の拡充を図っています。ご要望があれば、案内チラシの提供や地区における「出前講座」にも職員が出向きますので、ご利用ください。各家庭の生ごみの減量化が進めば、カラスのエサが減るうえ、ゴミステーションに排出されるごみの全体量が減り、ステーションが溢れることも避けられますので、ご協力願います。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「スポーツ村交流センターが、町民にとって使いやすい施設となるための方法やアイデア」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

「カーブミラーの設置」について

【回答】

既にカーブミラー設置申請書をご提出していただいておりますので、現地確認の上、危険箇所につきましては設置をしてまいります。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「スポーツ村交流センターが、町民にとって使いやすい施設となるための方法やアイデア」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「公共施設（公民館等）の老朽化対応計画」について

【回答】

地区公民館における老朽化対応計画を示してほしいとのことですが、現在のところ地区公民館においてそのような計画はなく、来年度以降に施設長寿命化における個別施設計画を策定していきたいと考えています。

現在は、各地区からの要望をお聞きし、それが「阿久比町立施設大規模修繕等実施要綱」に当てはまる事業について費用を負担していますので、地区からの整備要望を順位づけて教えていただけますと助かります。

具体的には毎年、来年度予算に反映させるため、各地区より地区公民館における整備や改修など町の大規模修繕実施要綱にある条件を満たす大規模修繕等について、町が事業費の2分の1（400万円上限）を負担します。

②「街路樹の剪定や道路の草刈りの回数増加」について

【回答】

棕岡地区において、街路樹があるのは主要地方道名古屋半田線と推測します。管理者である愛知県にいただいたご意見を伝えてまいります。

また、町道の草刈りについては、限られた道路予算の中で、交通量の多い幹線道路を中心に草刈作業を行っております。菱田地区にお住まいの方からも、自宅前の舗装路肩に生えた雑草の除草の依頼がありましたが、諸事情をお伝えし、ご自身での対応をお願いしました。生活道路については、地区の皆様のご理解とご協力をいただきながら、生活環境の保全や交通の支障となるような危険箇所の解消を図ってまいります。

③「地区の公民館や公園の管理で出た剪定枝・草の処分場の設置」について

【回答】

刈草剪定枝は、現在可燃ごみとして排出していただいておりますが、可燃ごみを減量するために刈草剪定枝の資源化、堆肥化は大変有効であると考えてお

ります。処理場（剪定枝・草）の設置につきましては、町が所有する公有地の利用における庁内調整に加え、常設による経費など様々な検討事項がありますので、近隣市町の先進事例を参考に検討してまいります。

④「アグピー号の増発」について

【回答】

循環バス「アグピー号」は、全区間を無料運行し、買い物や通勤など、町民の皆様の生活の足となっています。現在、アグピー号は、オレンジライン、ブルーラインの2系統25便で運用していますので、増発をすることは難しい状況です。今後も皆様のご意見、利用者数などを参考に2台の循環バスで効率よく、多くの方が利用しやすい運行ダイヤになるように阿久比町循環バス運行連絡会議で検討してまいります。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「スポーツ村交流センターが、町民にとって使いやすい施設となるための方法やアイデア」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「矢口地区周辺の交通量の増加とそれに伴う対応」について

【回答】

ご提案の道路については、令和3年3月改訂の「阿久比町都市計画マスタープラン」において、大字阿久比の桜橋交差点から半田市岩滑方面へ南進する都市計画道路草木岩滑線の記載があります。

役場前の県道の渋滞対策としましては、主要地方道名古屋半田線の東浦・阿久比バイパス（東浦町植山交差点から阿久比町福住交差点までのL＝2.4km）が計画されており、今年5月に愛知県主催の説明会が開催されました。

こうした都市施設としての計画道路が着実に整備されるよう町としても努めてまいりますので、地域の皆様のお力添えをお願いします。

中部保育園南西の交差点につきましては、消えかけている区画線の引き直しなどの修繕に努めてまいります。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「ごみ減量化を進めるために地域や家庭ができること」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「路肩の草刈り」について

【回答】

幹線道路を中心に定期的に草刈りを実施しておりますが、町道１１３号線の大半が町での草刈り箇所には該当しておりません。限られた道路の予算では、路線全ての草刈りを実施することが不可能なため、地区の皆様にもご協力をいただいているのが現状です。

本路線については、道路の両側で土地所有者が農地の嵩上げをしている箇所が散見されます。嵩上げた法面の草刈りを怠ると、ご意見のとおり交通に支障をきたすおそれがあります。また、水田からの排水が道路に滞水しないよう、民地内に素掘り水路があります。土地所有者、耕作者の責任において、草刈りと合わせて水路の適切な維持管理を強く働きかけてまいります。

②「ゴミステーション設置用地の確保、資源ごみの常時受け入れ場所の設置」について

【回答】

今般は、民間の宅地開発に伴い、新たなゴミステーションの設置及び既設ステーションの移設について、大変ご尽力をいただきました。誠にありがとうございました。今般の件においては、地区のご事情を踏まえて、お力添えを得ながら一緒になって進めてまいりたいと考えていますので、引き続き、ご協力をお願いします。

ゴミステーションの設置用地の確保・資源ごみ回収場所の常設につきまして、町が所有する公有地の利用における庁内調整に加え、常設による経費など様々な検討事項がありますので、近隣市町の先進事例を参考に、検討してまいります。

③「阿久比町からの積極的な情報発信」について

【回答】

町の公式ホームページに関しては、特別なアプリケーションを必要とせず、

誰でも必要な情報を得ることができるよう文字や写真を中心に情報発信を行っています。また、阿久比プレイガーデンプロジェクトの一環としてスペシャルムービーを作成し、動画により町の魅力を発信しています。ご意見をいただいたとおり、動画によるごみ減量に向けた分別方法やキエーロの普及等についても、担当課と相談し検討してまいります。アグナビは情報を発信すれば、利用者にお知らせが届くプッシュ通知となっていますので、動画に限らず、防災・行政情報について積極的にアップし、町民にとっての利用価値を高めることで、登録者の増加に努めてまいりますので、地区内でも区民の皆様へのインストールを呼び掛けていただきますようご協力願います。

④「行政協力員に貸与されているタブレットの活用」について

【回答】

今年度の行政協力員会は、現在のところ集合形式で開催することができていますが、本町の新型コロナウイルス感染症の感染者数は、7月中旬から連日過去最多を更新しており、今後の感染状況によっては、行政協力員会についても、昨年度の書面開催のように集合形式での開催ができなくなることが予想されます。

また、新型コロナウイルス感染症のみならず、行政協力員の皆様の中にはお仕事をされている方もお見えになり、負担軽減を図ることも重要であることから、場所を問わず会議を開催することのできるオンライン会議の需要が高まっていると考えています。

ご意見をいただいたとおり、令和3年度に導入したタブレットを有効活用し、オンライン会議の開催をはじめ、町と行政区との情報交換・情報連携の効率化、災害時における情報共有の迅速化等を図るなど、皆様からのご意見を取り入れながら、より効果的にタブレットを運用していきたいと考えています。

○テーマについての意見・提案に対するコメント

「スポーツ村交流センターが、町民にとって使いやすい施設となるための方法やアイデア」

別紙、『各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について』をご覧ください。

○地区からのご意見に対する回答

ご意見ありがとうございます。

①「ふれあいの森」について

【回答】

ふれあいの森にご要望の中にある種目について設置することは、スペースやフラット部分が少ないことを勘案すると現実的には難しいのが現状です。

遊具ではありませんが、思い切り体を動かしていただけるように今年度から毎月第3日曜日に体育室を一般開放しています。バドミントンや卓球など種目は限られますが、ご利用いただくことをお勧めします。（卓球台は備えてありますが、ラケット等道具は各自持参でお願いします。）

②「ゴミステーションのカラス対策」について

【回答】

金属製のステーションは、収容量が限られ、防鳥ネットのように柔らかい素材ではありませんのでオーバーしたら扉が閉まらず、カラスの被害に遭う可能性が高くなってしまいます。そのため、ゴミステーションを現状より大きな容量に作り直すなどの対策が必要となりますが、用地の件などもあり難しいのが現状です。また、防鳥ネットであれば、簡単に修繕したりおもりを付けて隙間をなくしたりするなど地区の皆様による臨機応変な対応ができますが、金属製のステーションになるとそのような対応ができなくなってしまいますので、現状のご対応をお願いします。ネットが破れた、大きなものにしてほしいなどの要望がある場合は、行政協力員さんを通して建設環境課環境係に要望していただければ、新しいものをお渡ししますので、ご協力願います。

③「可燃ごみの収集時間」について

【回答】

陽なたの丘地区が希望する収集時間に変更する場合、陽なたの丘以外の5つの地区すべてのゴミステーション清掃等の時間にも影響が出てきます。各地区の収集時間は長く地区に定着しており、各地区の方々は、その時間に合わせて

ゴミステーションの清掃等を行っていただいておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、回収時間が遅くなる原因として、各地区のごみの出し方が悪くカラスの被害に遭う、回収できないごみが出されるなどの問題があります。対策としては、ごみを排出する際、きちんとネットからはみ出さないように順次奥から投入する、決まった曜日に決まったごみを排出するなどごみ出しのマナーが大切です。町といたしましても、全町に対して改めて基本的なごみ出しのマナーについて呼びかけていきます。陽なたの丘地区においても地域住民の方へのマナーの周知・徹底をお願いします。

カラス対策としては、エサとなる生ごみ、残飯を減らすことが必要です。家庭からの生ごみを減らすために効果的なものとして「生ごみ処理機」があります。この「生ごみ処理機」については、平成１２年度から補助制度を設けています。今年度から、新たに「キエーロ」を補助対象として追加し、制度の拡充を図っています。ご要望があれば、案内チラシの提供や地区における「出前講座」にも職員が出向きますので、ご利用ください。各家庭の生ごみの減量化が進めば、カラスのエサが減るうえ、ゴミステーションに排出されるごみの全体量が減り、ステーションが溢れることも避けられますので、ご協力願います。